



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

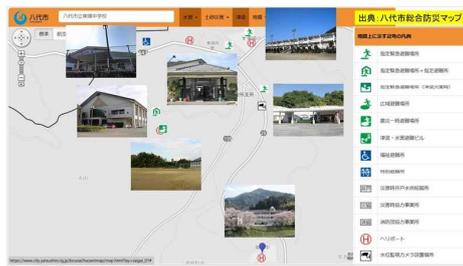
令和6年8月28日（水）No 18 発行
文責：松本 卓也

台風10号接近！命を守る行動をお願いします

台風10号は、午前10時現在、屋久島の南南西約120キロにあって、ゆっくりと北北西へ進んでいます。明日29日（木）夜遅くから30日（金）朝にかけて、熊本県に最接近する予報が出ています。台風による被害を未然に防ぐためには、普段からの備えや正しい情報の入手が大切です。防災教育の一環として、屋外のプランター等の片付けや、防災主任のM先生より災害から命を守る行動について全校生徒に話をしてもらいました。風が強くとさまざまな影響が出ます。平均風速が15m/s以上になると風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出てきます。不要な外出は控え、命を守る行動を心がけてください。合言葉は、“命を守るために 逃げるスイッチ、オン！”です。



【引用：気象庁 HP】



【引用：八代市総合防災マップ】



台風への備え 5カ条

- ①家の外の備えを行う（大雨が降る前、風が強くなる前に済ませましょう）
 - ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。
 - ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
 - ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、屋内へ格納しましょう。
- ②家の中の備えを行う
 - ・非常用具を確認しましょう。（懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池式）、救急用品など）
 - ・室内からの安全対策をしましょう。（窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを貼ったり、カーテンやブラインドを下ろすなど）
 - ・水の確保をしましょう。（断水に備えて飲料水を確保したり、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど）
 - ・非常用食品を準備しましょう。（乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など）
- ③避難場所の確認を行う
 - ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。
 - ・日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
 - ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。
- ④気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」など情報の入手を行う
 - ・気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときには、「台風情報」や「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオ、気象台ホームページから最新の情報を入手してください。
- ⑤台風接近中は不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない！
 - ・雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故などが発生します。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにしましょう。
 - ・台風が接近し暴風となると、風により物が飛ばされたり、飛んできた物にぶつかったり、車が転倒したりするおそれがあります。また、風に煽られてドアや扉に手や指を挟まれるなどの被害も発生します。不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、海上や海岸付近では台風接近前から波が高くなり、台風が通過した後もしばらくは波が高いことが多いです。台風接近時は海上や海岸付近に高波を見に行くなど危険な事はやめましょう。

【引用：宮古島地方気象台】

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）